

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスライフズビューティフル			
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		～	2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		～	2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	卒業後に向けての取り組みが充実している。障がいあっても自分で働いて生活できるようにまたお仕事をしてお仕事をして収入が得られるようになる為の支援を行なっている。	働く前に必要なスキルの獲得、会社が求める作業内容の訓練を行う。軽量、袋詰め、箱の組み立て、時間、時計の活用、大きさや重さの理解などを個別で訓練して実践で確認を行い進めている。	一般企業が取り組んでいる、作業を実際にこちらで訓練を行い、会社が必要とされる人材育成を進める。
2	様々な取り組みや支援、療育の中で本人さんが自己選択(やる、やらない)を選択できるような支援を行なっている。また途中から参加したい場合には「参加していいですか?」と声かけできるように支援を行なっている。	利用者自身で活動を選び、選択肢、自己選択ができるようにまた自分の意思を相手に伝えることができるようになる為個別活動等で意思表示や活動の内容を確認しています。	現在行なっている、イベントや行事以外にさらに子どもたちが
3	地域と関わり卒業後に地域で生活できるように地域の方々と関わる行事を行なっている。	地域にある、法人として開かれた事業所を目指し、子供達が地域で生活できるように、地域の方々と関わりが持てるイベント、行事(運動会、フリーマーケット、敬老会、キャンプハンセン交流会、事業所見学会)を行い子供達を理解してもらえるような取り組みを続けていきます。	現在行なっている、イベントや行事以外にさらに子どもたちが地域の方に理解してもらえるような取り組みを考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	前年とからスタッフの入れ替えがあり、比較的若いメンバーが入社してきた事で福祉や特性についての理解、虐待防止研修を行い支援者としての自覚してもらえるように勉強会やミーティングを行う。	法人が大切にしている、思いを理解してもらい、個人の思いを支援を進めないようにまたチームを支援、療育を進めていくように進めていく。	スーパーバイザーの研修や個別の面談でスキルアップしてもらい療育の大切さ、必要性を理解し支援に生かしていく。
2	スタッフ全員で役割を明確化することで業務をスムーズに進めていながら支援内容の充実を図る。	記録等の報告が遅れている現場がある。ITやシステムを導入しているので役割や時間を設定し業務効率を進めていく。	
3			